公益財団法人 紙の博物館

2020 年 10 月

プレスリリース

創立 70 周年記念企画展　**特別収蔵品展**

2020 年 10 月 24 日（土）～2021 年 2 月 23 日（祝）

## 創立 70 周年、紙の博物館の名品を展示します

紙の博物館は、創立以来「洋紙発祥の地・王子」に設立された紙の専門博物館として、日本の製紙産業に関わる資料を受け継ぎながら、伝統的な和紙に関する資料も収集、保管してきました。新館移転以来 20 余年ぶりとなる本特別収蔵品展では、重要資料を中心に、多彩な紙関係資料の数々をご紹介します。

## 展示概要

1. 名　称　　創立 70 周年記念企画展「特別収蔵品展」

2. 会　期　　2020 年 10 月 24 日（土）～2021 年 2 月 23 日（祝）

※会期中、2 回展示替えを行います。

第Ⅰ期：10 月 24 日（土）～11 月 28 日（土）／第Ⅱ期：12 月 1 日（火）～2021 年 1 月 16 日（土）

第Ⅲ期：1 月 19 日（火）～2 月 23 日（祝）

3. 開館時間　　10：00～16：00　（入館は閉館の 30 分前まで）

4. 休館日　　日曜日・月曜日、年末年始（12 月 26 日（土）～2021 年 1 月 5 日（火））、臨時休館日

5. 会　場　　公益財団法人 紙の博物館　4 階企画展示室

〒114-0002 東京都北区王子 1-1-3（飛鳥山公園内）

TEL:03(3916)2320　FAX:03(5907)7511　URL: https://papermuseum.jp/

6. 入館料　　大人 400 円／小中高 200 円

＊身体障がい者手帳、愛の手帳（療育手帳）または精神障がい者福祉手帳をお持ちのご本人は無料、介助の方は半額となります。

7. 交　通　　JR 京浜東北線　王子駅南口下車　徒歩 5 分
東京メトロ南北線　西ヶ原駅下車　徒歩 7 分
東京さくらトラム（都電荒川線）　飛鳥山停留場下車　徒歩 3 分
都バス　飛鳥山停留所下車　徒歩 4 分

8. お問い合わせ先

公益財団法人 紙の博物館　学芸部　平野（広報）　山口・小嶋（展示）
TEL:03-3916-2320　FAX:03-5907-7511　E-mail:gakugei@papermuseum.jp

**新型コロナウイルスの影響により、やむをえず会期等が変更になる場合がございます。**

**最新情報は、ホームページをご覧ください。**

## 展示構成

### （1）紙の博物館の 70 年

戦禍の工場跡地に生まれ、現在は飛鳥山公園内の紙の専門博物館として親しまれる「紙の博物館」の 70 年の足跡を振り返ります。

（左）紙の博物館 旧館（昭和 57 年）

（右）現在の紙の博物館

### （2）重要収蔵品

紙の博物館には、日本の和紙、洋紙をはじめ、アジア、ヨーロッパなど古今東西の紙資料が約 4 万点収蔵されています。これらの収蔵品の中から、当館で重要とされてきた名品を選び出しました。

絵奉書「吹きぼかしに紅葉」／

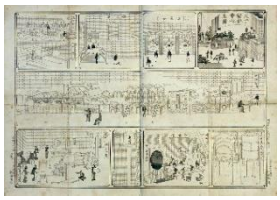
：季節に応じた草花を描いた奉書紙で、祝儀用に用いられた。吹きぼかし、木版、石摺りで模様が付けられ、趣向が凝らされた品。

仿澄心堂紙（ほうちょうしんどうし）／清朝乾隆帝時代（1735～95））

：南宋期の名紙として名高い澄心堂紙を、清朝乾隆帝が模して作らせたもの。字は書かず、紙そのものを鑑賞する。

## （3）明治の近代製紙業を伝える収蔵品

明治初期、日本に近代製紙業が興り、全国で 7 工場が稼働しました。中でも、東京・王子の「抄紙会社」は、渋沢栄一の提案、主導によって操業を開始した会社で、その後身である王子製紙株式会社王子工場の跡地が、当館のルーツになりました。



銅版画「王子製紙会社略図」／村井静馬画／綱島亀吉版／明治 10 年（1877）

：抄紙会社創業当時の工場内部をよく伝える銅版画。

イギリスの建築技術、機械設備を導入した。

肉筆画「飛鳥山の景」／三代歌川広重画／明治初期

：飛鳥山から、煉瓦造の製紙工場を見下ろす女性を撮影する場面を描いたもの。飛鳥山は、江戸時代から知られる庶民の行楽地で、桜の名所である。明治時代に煉瓦造の製紙工場や鉄道が建設されたことから、開化名所としても知られるようになった。

渋沢栄一書簡（部分）／明治 9 年（1876）

：抄紙会社の谷敬三支配人宛に差し出された書状。用水に関する東京府との交渉を伝える。

## （4）貴重書

記念館設立以前より収集してきた和紙、洋紙の紙業文献の中から、貴重書をご紹介します。

E. Kaempfer, *The History of Japan* (London: T. Woodward, 1728)

：ドイツ人医師・博物学者のケンペルが日本を見聞して著した原稿を英訳した研究書の第 2 版。

ケンペルの『日本誌』は、海外に詳細な和紙の作り方を解説したとして知られる。

# イベント

## 紙の工場跡地を歩く

日時：11/21（土）　10：30 ～ 12：00

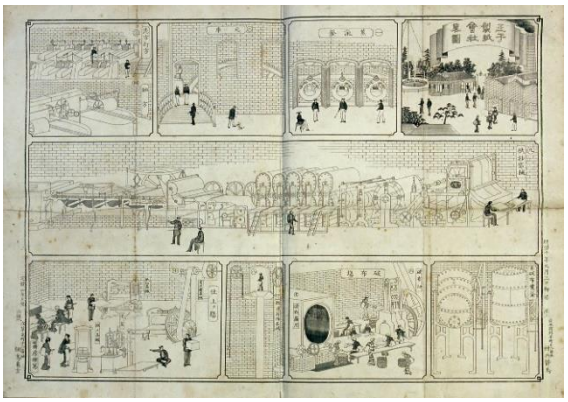
定員：6 名　費用：無料（入館料のみ）　申込：ホームページより https://papermuseum.jp/ja/event/

明治初期に、渋沢栄一が提唱し、経営を主導した「抄紙会社」（後の王子製紙王子工場）があった王子駅周辺を、学芸員とともに散策し、明治時代から戦後までの歴史を振り返ります。

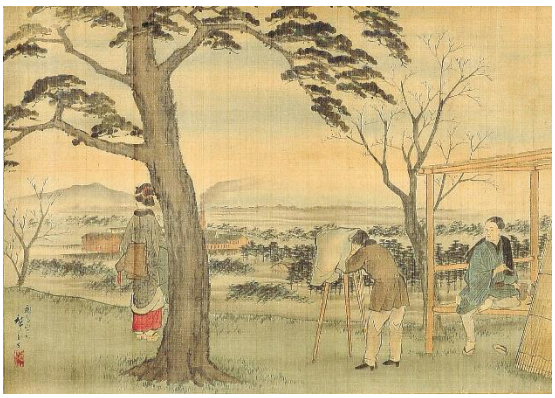
## 広報用画像

画像　1　　絵奉書「吹きぼかしに紅葉」

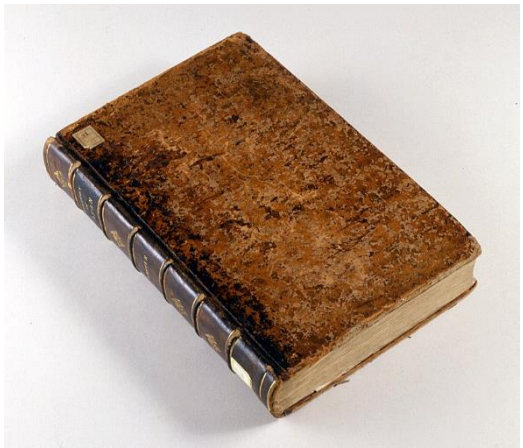
画像　2　仿澄心堂紙



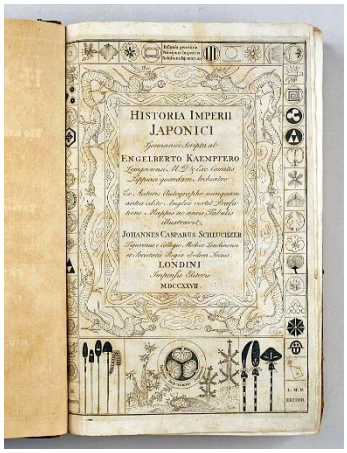
画像　3　銅版画「王子製紙会社略図」



画像　4　肉筆画「飛鳥山の景」



画像　5　*The History of Japan*




画像　6　*The History of Japan* の扉ページ

画像　7　渋沢栄一書簡

FAX 番号　03-5907-7511　　E-mail：gakugei@papermuseum.jp

紙の博物館「特別収蔵品展」担当宛

# 創立 70 周年記念企画展「特別収蔵品展」<br>広報用画像貸出申込書

本企画展プレスリリースに掲載している画像 7 点を、広報素材としてご提供します。
必要事項をご記入の上、FAX かメールでお申込ください。

＊画像は企画展の広報用としての使用に限ります。会期終了後の利用、また二次利用はお断りします。

＊提供した画像は、必ずご利用後、速やかに消去してください。

＊基本情報の確認のため、校正を担当者までご送付ください。

＊掲載紙・誌等は、担当者までご送付ください。

| | |
|---|---|
| 貴社名： | ご担当者名： |
| ご住所：〒 | TEL：<br>FAX：<br>E-mail： |
| 媒体名： | 掲載予定日（号）： |
| コーナー名： | 貸出希望日：　　月　　日<br>時頃まで |
| 通信欄： | |

| 印欄 | 画像番号 | キャプション・クレジット |
|---|---|---|
| □ | 1 | 絵奉書「吹きぼかしに紅葉」 |
| □ | 2 | 仿澄心堂紙 |
| □ | 3 | 銅版画「王子製紙会社略図」（村井静馬画） |
| □ | 4 | 肉筆画「飛鳥山の景」（三代歌川広重画） |
| □ | 5 | E. kaempfer, *The History of Japan* |
| □ | 6 | E. kaempfer, *The History of Japan* の扉ページ |
| □ | 7 | 渋沢栄一書簡 |

紙の博物館使用欄　　担当

画像送付　／　・　校正　／　・　掲載確認　／